

研究協力のお願

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 内科学 教室

記

研究の名称	消化器疾患における SARC-F と好中球・リンパ球比の関連性に関する後方視的検討
対象	2020 年 6 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの期間に大阪医科薬科大学病院消化器内科に入院し、SARC-F 質問票を用いた問診を実施した患者さんの診療情報を研究に利用いたします。約 2000 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2026 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：消化器疾患で入院する患者さんを対象として、日常の診療で行っている SARC-F 質問票(サルコペニアを簡便に評価するための自己記入式の問診票のことです)を用いて、SARC-F 得点と血液検査における好中球・リンパ球比(NLR)の関連性の検討を行います。またサルコペニアとは骨格筋量の低下と骨格筋の質(通常は握力で評価されます)で定義される病態のことです。好中球は主として細菌感染の際に細菌を殺す役割を担っており、リンパ球はウイルス感染細胞を攻撃したり、がん免疫で重要な役割を演じています。また好中球は主として急性期、リンパ球は慢性期の炎症に関与しており、NLR が高値を示せば、それだけ「炎症」の程度が重いということを示しています。今回の研究結果に

	<p>より、消化器疾患の SARC-F 得点と NLR の関係が明らかになれば、消化器疾患でのサルコペニアを血液検査で拾い上げることができる可能性があり、実際の臨床に大変有用と思われれます。</p> <p>利用方法：患者さんの情報を、当院の診療記録から収集し、抽出した情報を基に適切な統計解析を行います。抽出する診療情報は、診療情報と同様に厳重に管理され、個人を特定できる情報が漏れることはありません。</p> <p>研究結果は、個人を特定できないように対処したうえで、学会や学術誌で発表される予定です。本研究は日常診療を行った後に情報をまとめる形で行われる研究（観察研究）ですので、参加することによる直接的な利益や不利益はありません。また、本研究に参加することで、新たに発生する自己負担はありませんし、謝礼金などありません。</p> <p>対象者の方（あるいは代理人）の申し出により、他の対象者等の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究に関する資料を入手や閲覧できますので、ご希望される際は、下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。</p>
利用し、又は提供する試料・情報の項目	情報：検査データ、画像データ、診療記録等
研究者名 【研究責任者】	内科学 教授 西川 浩樹
参加拒否の申し出について	ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。

参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

<問い合わせ窓口>

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 内科学 教室

担当者 [後 昂佑松井 将太](#)

連絡先 072-683-1221（代） 内線 [585963542](#)

コメントの追加 [作成者1]: 大変申し訳ございませんが、窓口対応は常勤の先生や常時受け取り可能な番号設定いただくをお願いしております。

コメントの追加 [将松2R1]: 修正致しました

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
担当研究責任者 西川 浩樹 松井 将太 殿

課題名	消化器疾患における SARC-F と好中球・リンパ球比の関連性に関する後方視的検討
-----	---

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否いたします。

年 月 日 対象者

住所

氏名（自署）

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）